

日本消化器内視鏡学会Japan Endoscopy Data base (JED)参加施設において、  
上部消化管内視鏡検査を受け、胃癌と診断された患者さんへ

### 「「胃癌AI診断の精度向上」のための研究（多施設後ろ向き観察研究）」への協力をお願い

日本消化器内視鏡学会では、いまだに罹患者数、死亡者数の多い胃癌の発見率の向上、および、治療方針を決定する質的診断能の向上を目指して、人工知能（Artificial intelligence; AI）を用いた、胃癌の内視鏡自動診断システムの開発を行う研究を行っております。この研究は、日本医療研究開発機構（Japan Agency for Medical Research and Development; AMED）臨床研究等ICT(Information and Communication Technology) 基盤構築・人工知能実装研究事業/研究開発課題名：「内視鏡統合データベースと連携する内視鏡診療領域におけるAIプロトタイプ開発と実装に向けたICT基盤整備」研究開発/日本消化器内視鏡学会理事長：井上晴洋の一環として、AMEDから資金提供を受けて、東京大学医学部附属病院、京都第二赤十字病院、はじめ、参加を表明したJapan EndoscopyDatabase (JED)Project 参加施設（日本消化器内視鏡学会指導施設）、日本消化器内視鏡学会JED Project、国立情報学研究所がそれぞれ協力しながら行っている多施設共同の臨床研究です。

2009年4月～2019年8月までに、近畿大学病院で上部消化管内視鏡検査により胃癌と診断を受けた20歳以上の患者さんを対象にしております。この研究は、内視鏡検査で実際の診療で施行された画像および、それに付随する検査・病理報告書に記載された内容を用いて行われますので、該当する患者さんの現在・未来の診療内容には全く影響を与えませんし、不利益を受けることもありません。また、本研究はAIシステムの基礎データとして別研究にて二次利用に活用される可能性があります。

なお、この研究は日本消化器内視鏡学会の倫理委員会の承認を得ております。この研究にご協力いただくかどうかは、研究参加者の皆様の自由意思に委ねられています。この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、以下の問い合わせ先にご連絡ください。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって各参加施設における診療・治療において不利益をこうむることはありませんので、ご安心下さい。ご本人の申し出があれば、可能な限り情報・データ等及び調べた結果を廃棄します。ただし、情報提供について、拒否の申し出をされたとき、すでに研究結果が論文等に公表されていた場合等は、廃棄することができませんのでご了承ください。

#### 【調査する診療記録・検査記録の一覧】

- ① 内視鏡画像、②画像データに付随する内視鏡検査・病情報

問い合わせ先

近畿大学医学部消化器内科

研究責任者 松井繁長

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2

電話番号 072-366-0221

研究代表施設 名古屋大学大学院医学系研究科

研究代表者 藤城 光弘